

## L03b 暦象年表 Web 版について

片山 真人、松田 浩、遠藤勇夫、福島登志夫 (国立天文台)

国立天文台天文情報センター暦計算室は、国際的に採用されている基準暦に基づき、太陽・月・惑星の視位置をはじめ諸暦象事項を計算し、国立天文台の設置目的の一つである‘暦書’の編製として暦象年表を発行している。暦象年表は、平成 20 年 (2008) 版までは理科年表暦部とほぼ同じ内容を持つ小冊子であったが、平成 21 年 (2009) 版からは新しい歳差章動理論の導入・地球時の採用とともに、A4 版化、表示桁数・日数の拡大により内容を大きく拡充した。天体位置表の廃刊により、現在では国内唯一の天体暦となっている。

さらに平成 23 年 (2011) 版からは、紙版とともに Web 版の整備を進めている。Web 版は単に紙版をそのままデジタルデータとして掲載するのではなく、その特性を生かして構築するように心がけた。たとえば、ユーザーが必要に応じて任意の地点・時刻・時間間隔などを設定してデータを取り出す機能 (日の出入り、天文現象各地予報など) や、カラーのグラフや図などで視覚的に表現する機能 (天体の自転軸など)、度分秒表示と小数点表示の切り替え、さらに、紙版では掲載していない項目あるいはスペースの都合で割愛していたデータ (恒星の視位置など) も加え、さまざまなニーズに対応できるようになっている。当初の目標はほぼ完成しつつあり、今後は基礎理論の解説や図解・読み物の類を拡充すべく、検討を進めている。

暦象年表 Web 版の URL は以下のとおりである。データの利用にとくに制限は設けていないので、自由にご活用いただきたい。また、要望や意見などがあれば、随時お知らせいただきたい。

<http://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/cande/>